



こくろうよなご

第1号

2025年8月25日

発行責任者 倉下文明

部 宣 教 集 編

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！

御来賓の皆様方！

立憲民主党鳥取県総連合会
湯原 俊二 様

立憲民主党島根県総連合会
岸 道三 様

鳥取県労働者福祉協議会
重村 和光 様

こくみん共済ＣＯＯＰ鳥取
大橋 晃大 様

中国労働金庫米子支店
蒲池 俊彦 様

鉄道退職者の会米子地方連合会
国尾 順一 様

国労議員団 浜田市議会委員
小川 稔宏 様

国鉄労働組合西日本本部
植田 重信 様



大会は、青柳副委員長の司会ではじまり、議長には米子連合分会の渡邊代議員を選出、倉下執行委員長の挨拶

（別掲）を受け、来賓の皆さんより心温まる激励を頂きました。

午後に入り、はじめにこの4月に国労に加

8月23日、米子コンベンションセンターにて「第78回定期地方大会」を開催し、組織・強化拡大、26春闘の前進、ローカル線の維持・存続、平和と民主主義を守る闘い、政治闘争の強化など、向こう一年間の闘う方針を確立してきました。

変わることな い組合の使命

第78回定期地方大会を開催

第78回定期地方大会を開催

た「2025年度運動方針（案）」が全体の拍手で承認されました。

細田財政部長より、24年度決算・25年度予算について提案・承認の後、中国地本結成に向けた準備委員会の設置を承認、新役員を選出し、大会宣言を全体の拍手で承認、倉下委員長の団結ガンバローで閉会しました。

（質疑は、次号で掲載）

執行委員長挨拶(要旨)

今年は、終戦より80年目の日となる。戦争の実相を継承し、2度と悲惨な戦争を引き起こすことが無いよう改めて決意を固めあわなければならぬ。

何点かについて述べ挨拶とする。

一点目は、私達国労が直面している最大の課題である組織の将来展望についてである。

この4月に運輸士の村口さんが国労に加入をしてくれた。村口さんの決意に改めて敬意を表したい。働く仲間から選択される労働組合となるよう引き続き奮闘して行く。

一方、今大会では支

部の廃止と鳥取県分会・島根県分会の2分会体制について提案する。

また、来年4月には三つの地方本部を統合して「中国地方本部」を設置することも決定をしている。「ツナグ」の活用など、情報の共有化に努めていきたい。組織は小さくなっても、労働組合の使命については、変わるものではない。団結し乗り越えよう。

福知山線事故から20年、伯備線事故から19年目の年となる。

先日は、会社幹部のパワハラも発覚、事故の風化を懸念する。各系統で進められる効率

安心な職場づくりに奮闘している。

25春闘は、連合集計で5%を超えたが、留まることのない物価高により実質賃金は低下、私たちの暮らしは厳しさを増すばかりだ。

「失われた30年」の背景には、「ものわりのいい労働組合」の存在もある。私たち自身がもつともつと学習し、成長していこう

コロナ禍でJR各社は、輸送密度や収益など公表、一昨年4月には、「改正地域公共交通活性化再生法」が成立、米子地方本部として各自治体周りを始めた。ローカル線問題は



大きな岐路にあり、地域の皆さんと連携し取り組みを進める。

先の参議院選挙では、自公は少数与党へと転落した。一方、差別と分断を煽る新興政党へ多くの支持が集まり、など危惧する状況にある。衆議院選挙、そして、10月の浜田市議選の小川候補の必勝に向け奮闘していく。

2025年度新役員

執行委員長	倉下 文明
執行副委員長	藤江 美男
書記長	吾郷 隆志
執行委員	青柳 利寿
	笹木 文彦
	村口 政生
会計監査	藤原 輝明
	中原 昭彦
退任された役員	
執行委員	細田 浩

退任された役員

執行委員

細田 浩

これを知らなきゃ損するよ！！

定期地方大会に先立ち、国労会館主催の労働講座を行いました。

講師には、税理士の「平塚秀明」氏をお招きし、「社会保障について」というテーマで講演を受けてきました。

「社会保障制度」とは、「病気やケガ・出産・介護・失業などの事故（保険事故）に遭遇した際、国や地方公共団体から一定水準の給付を受けることで、生活の安定を図る制度」

であるが、給付には手続きが必要であり、必要な手続きをしないと本来受け取るべき保障も受け取れなくなるとも言われていました。そして、その前提として「制度を知っている」ことが大事であり、「うる覚えであっても、思い当たることがあれば公的機関への問い合わせをしましょう」と言われていました。参加者の皆さん、帰ってしっかり復習しましょう。